

萬國史略

田中義廉編輯

柳田文庫
文庫11
A1604
1



田中義廉編輯

萬國史略

版權免許 內藤氏藏版

文庫
A 1604

010190529075

大西文
庫印章

萬國史畧

凡例

一、此書ハ泰西ノ歴史ニ就テ彼此ヲ抄譯セリト雖トモ元來小學ノ目途ナレハ教宗ノ如キハ省キテ載セス、又日本支那ノ部ハ別ニ編輯スルヲ以テ此編中ニ置カス

一書中地名人名等ハ多ク音譯ノ漢字ヲ用ウ此等ハ初學ノ誦シ難キヲ以テ卷末ニ傍訓ヲ施シテ之ヲ附録ス

一卷末ノ字類ハ必竟繁冗ヲ厭フカ為ニ一旦目

萬國史畧

凡例

萬國史略
 二觸レタルモノハ再ヒ之ヲ載セサルヲ期ス
 然レトモ其出ツルコト稀ニシテ且既ニ隔ツ
 ルコト遠キモノハ再ヒ之ヲ記スルコトアリ
 一此編卷首ヨリ追編次第ニ文躰ヲ高クセリ是
 兒童一卷ヲ讀ミ了スル毎ニ學力漸次ニ進歩
 スルヲ以テ文格モ亦高進セサルヲ得サル故
 ナリ

明治八年十一月

田中義廉識

萬國史略目錄

卷一

- 太古史
- 馬太國史
- 巴比羅尼亞國史
- 勿撈齊亞國史
- 波斯國史
- 希臘國史
- 羅馬尼國史

卷二

- 亞細亞土耳其史
- 羅馬國史
- 亞刺比亞國史
- 猶太國史
- 新亞西里亞國史
- 亞西里亞國史

萬國史略

目錄

以太利國史

佛蘭西國史

卷三

西班牙國史

葡萄牙國史

日耳曼國史

字魯士國史

和蘭國史 附比利時國史

瑞西國史

卷四

英吉利國史

噠國瑞典那爾威國史

卷五

魯西亞國史

土耳其國史

亞米利加國史

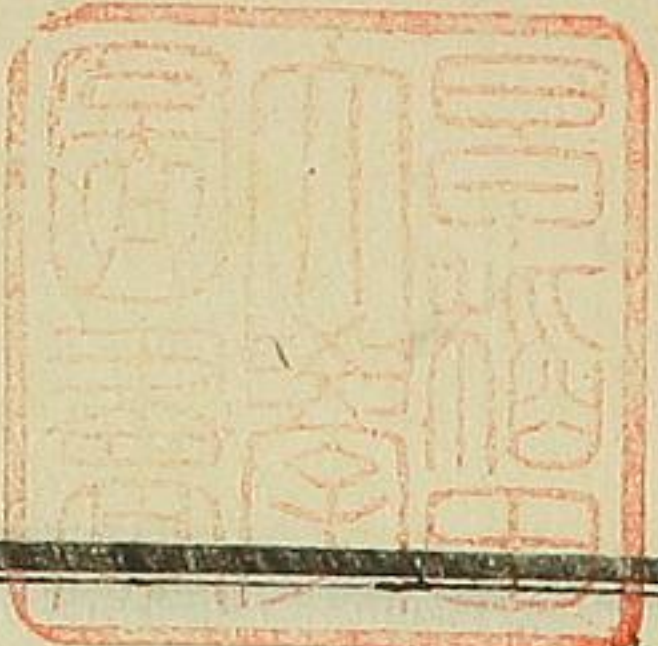
米利堅聯邦史

萬國史略卷之一

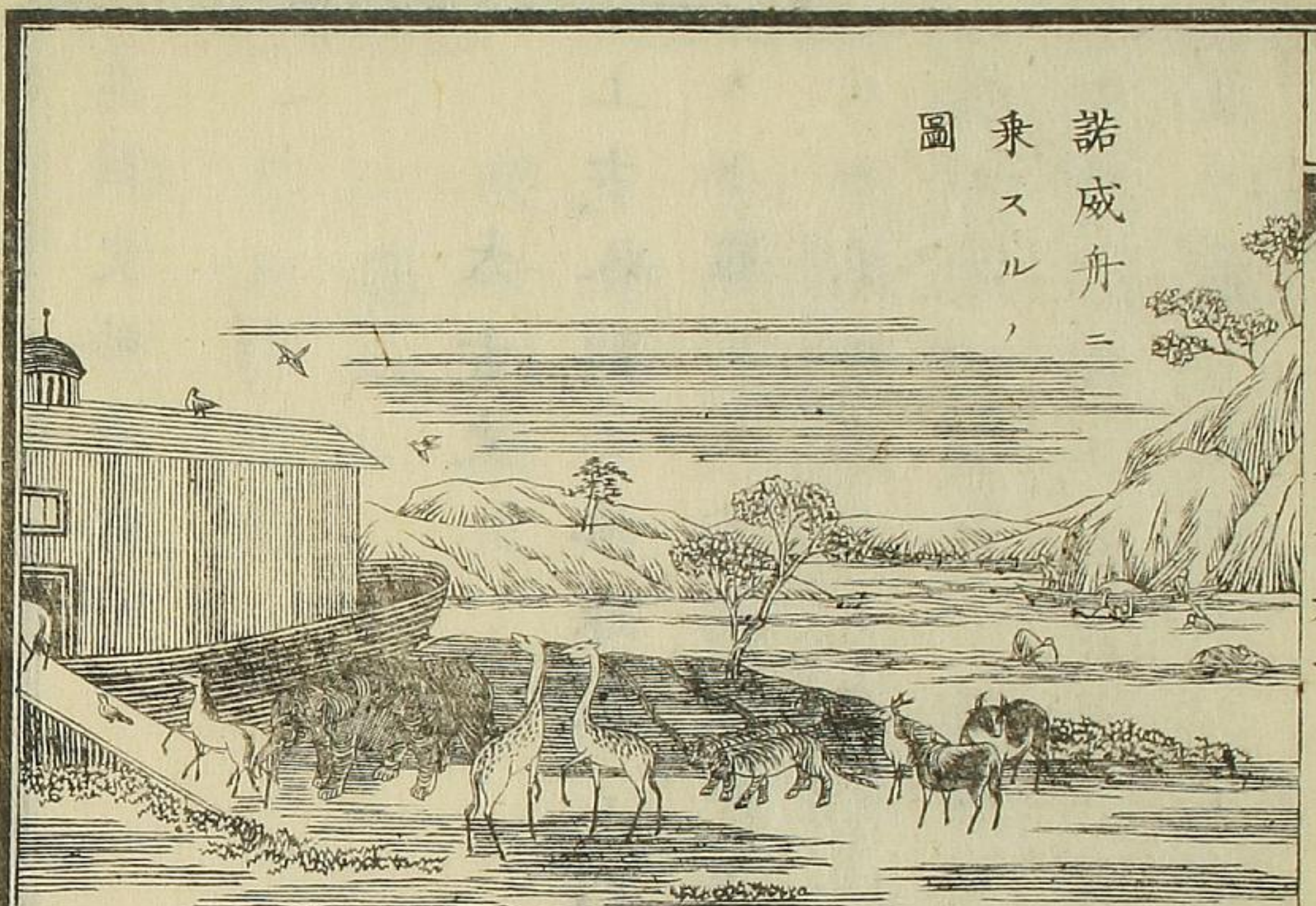
太古史

田中義廉 編輯

上古人類ノ地球上ニ創生シタル始ハ、詳明ナラ
 スト雖トモ、大約六千年前ニ在テ亞細亞ノ西南
 ナル米所波太迷亞今ノ亞細亞土ノ地方、由非刺
 底地革西兩河ノ近傍ニ一男一女生ル之ヲ亞當、
 厄襪ト稱ス、二子アリ、長ハ耕稼ヲ業トシ、次ハ牧
 畜ヲ業トス、既ニシテ其子孫次第ニ繁殖シテ、亞



諾威舟ニ
乗スル
圖



細亞亞弗利加歐羅巴ニ
行蔓セリト云フ、蓋シ其
際ニ在テ、又人民ノ各地
ニ棲息セルコト、疑無シ
ト雖モ攷據スベキモノ
ナキヲ以テ、此二人ヲ世
界開闢ノ始祖トス
亞當ヨリ千六百餘年ノ
後、非常ノ大洪水アリテ、
山嶽沈没シ、人民多ク滅

盡ス、此ヨリ前ノ世ヲ稱シテ前世界ト云フ、○洪
水ノ時ニ方テ、只諾威ト云フモノアリ、家族及ヒ
動植物ヲ携ヘ、巨船ニ乗シ、糧食ヲ貯蓄シ、水ニ浮
テ僅ニ死ヲ免ル、コトヲ得タリ、諾威ノ一族、水
上ニ漂蕩スルコト五月、洪水漸ク涸ル、ニ及ヒ、
其船亞刺臘山ニ止レリ、諾威乃チ船ヲ出テ、家族
ヲ率キテ、又迷所波太迷亞ニ來リ住ス、其子孫復
繁殖シテ、諸洲ニ蔓延シ、次第ニ分レテ、部落ヲ為
シ、建國ノ基礎ヲ開ケリ、爾後二百餘年ヲ經テ、紀
元前二千二百二十年ノ頃ニ至リ、尼慕魯ト云フ

者、西尼爾國ノ王ト為リ、始テ封國ノ形ヲ為シ、其地ニ都府ヲ建ツ之ヲ巴比倫ト云フ、百餘年ヲ歴テ亞西里亞ノ為ニ滅セラル、此時既一勿擲齊亞侯及國アリ、支那印度ノ地方ニ於テ亦數個ノ封國ヲナスモノアリ

亞西里亞國

此國ハ地革里河ヲ隔テ、巴比倫ト相對スル地ナリ、紀元二千餘年前神武紀元前大凡一千三百四十年、陶唐帝堯ノ世ナリ建國ノ王ヲ尼奴ト云フ、猛勇ニシテ四隣ヲ掠略シ、巴比倫ヲ滅ホシ、漸ク大國トナリ、都ヲ尼尼微ニ建ツ、城郭ノ大ナルコト周回殆ト二十里アリ

ト云フ、尼奴王歿シテ、其后西迷拉迷斯位ヲ嗣キ、都ヲ巴比倫ニ遷シ、益盛大ヲ極ム、城郭宏壯ニシテ、宮殿樓閣、華麗ヲ窮極ス、此時ニ方テ國勢愈盛ニシテ、隣邦ヲ征討シ、益版圖ヲ廣メ、遂ニ印度ノ地方ナル温德斯坦ヲ進撃セリ、其國王乃チ隊伍

西迷拉
美斯印
度ニ進
入ノ圖



ト交ヘテ、數百ノ大象ヲ放チ我軍ヲ攻ム、西迷拉
迷斯后、大敗シテ、走テ本國ニ歸レリ、女王是ヨリ
人望ヲ失ヒ、遂ニ嗣子尼尼亞斯ノ為ニ弑セラレ
○尼尼亞斯既ニ母后ヲ弑シ、自立シテ、亞西里亞
國王トナレリ、然ルニ怠慢放肆ニシテ、奢侈ヲ極
ム、政事ヲ治メス、是ニ因テ國勢大ニ衰ヘ、人民深
ク怨望セリ、爾後八百年間ノ事歴、詳カナラス、數
代ノ王大率暗弱ニシテ、奢侈ニ長シ、酒色ニ荒ミ
國勢次第ニ衰頽シ、終ニ撒達巴黎王ニ至リ驕奢
ヲ極メ、政事ヲ顧ミス、是ニ於テ紀元前七百七十

六年

神武紀元前七百七十
年○夏ノ啓王二年

巴比倫ノ鎮將亞爾拔

塞ト云フ者、兵ヲ舉ケテ都城ニ攻入リ、國王ヲ圍

ム、國王其防クコト能ハサルヲ慮リ、火ヲ宮殿ニ

放チ、珍寶宮女ト共ニ兵火ニ投シテ亡フ、

巴比倫國滅スルノ後、封土分裂シテ二國トナル、

即チ新亞西里亞、馬太國ナリ

馬太國

巴比倫ノ鎮將、亞爾拔塞氏、既ニ巴比倫ヲ滅シ、一

國ヲ建ツ、之ヲ馬太國ト稱ス、嗣子約塞ニ至リ、都

城ヲ厄拔丁ト云フ、威力ヲ以テ國內ヲ壓服シ、每

ニ兵權ヲ擅ニス、嘗テ厄及ヲ侵シ、貨財ヲ掠奪セシコトアリ、其孫ヲ札撒拉ト云フ、新亞西里亞ヲ滅シテ之ヲ版圖ニ歸セリ、其曾孫、亞斯丁額ノ世、女ヲ波斯ニ嫁シ、居魯士波斯國王ノ始祖ヲ生ム、後紀元前五百六十年ニ至リ、居魯士王、外祖亞斯丁額ヲ廢シテ、其邦土ヲ部下ニ屬セシヨリ、馬太國是ニ至テ亡フ、

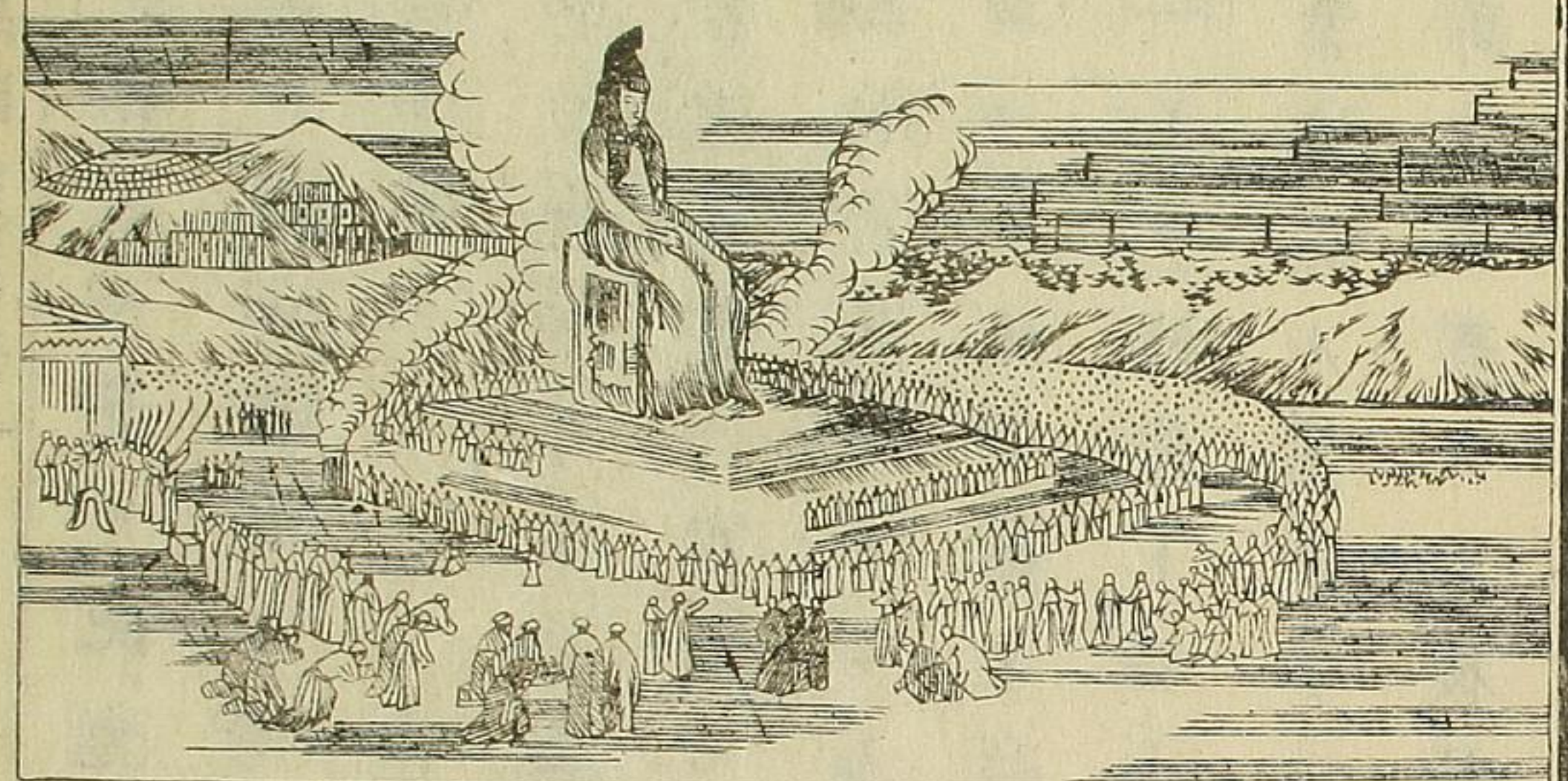
新亞西里亞國

撒達巴黎氏ノ滅フルトキニ方リ、其領地亞西里亞ノ部落ハ、群盜ノ割據スル所トナリ、其酋長チ

グラトビレセルナル者、終ニ部落ヲ併セテ統一シ、國號ヲ新亞西里亞ト稱ス、次テ達馬斯谷ヲ滅シ、又耶路撒冷ヲ伐テ和ヲ乞ハシム、撒馬斯攝氏ニ至リ薩馬里ヲ攻略シ、其民ヲ亞細亞ノ中部ニ驅逐セリ、降テ三勿立氏ノ代、厄及ヲ侵掠シ、又耶路撒冷ヲ圍ミ、巴比倫都ヲ得テ、其版圖ヲ擴メリ、嗣子薩拉氏ニ至リ、馬太國ト戰テ敗績シ、終ニ紀元前六百四十七年、馬太國ノ為ニ滅セラレバ比羅尼亞國馬太國既ニ新亞西里亞ヲ滅スト雖トモ、此役ニ

於テカルデーント名クル野民ノ酋長ナボホラ
 スセルナルモノニ援ヲ乞ヒ、勝算多クハ其手ニ
 成ルヲ以テ、薩拉氏ノ領國ヲ獲ルニ至リ、ナボホ
 ラスセル氏自ラ巴比倫王トナリ、國號ヲ巴比羅
 尼亞或ハ後ノ巴比倫ト云フト稱ス、此王強悍ニシテ、兵馬ヲ
 好ミ國勢次第ニ強大ヲナセリ、其後數代ノ王、戰
 ヲ好ミテ、四隣ヲ攻畧シ、邦土ヲ擴ムルコトヲ務
 メリ、次テ尼布甲尼撒王ニ至リ、耶路撒冷ヲ畧定
 シ、猶太人ヲ擒ニシテ、自國ニ禁錮スルコト、七十
 年、又埃及ヲ攻撃シテ、其都府ヲ燒夷シ、或ハ勿搦

巴比倫
大金像
ノ圖



齊亞ニ侵入シテ、其都多
 路ヲ蹂躪シ、至ル處標掠
 ヲ肆ニシ、殺戮ヲ極ム、然
 レトモ征服スル處大ニ
 シテ、版圖廣ク、地中海ノ
 濱ニ達セリ、又嘗テ大金
 像ヲ鑄ル、其高六丈アリ、
 天下ノ奇觀トス、○爾後
 ノ國王、多クハ淫逸驕侈
 ニシテ、政ヲ勉メス、傳ヘ

テ伯沙撒王ニ至リ、紀元前五百三十八年、波斯王
居魯士ノ為ニ滅セラレ

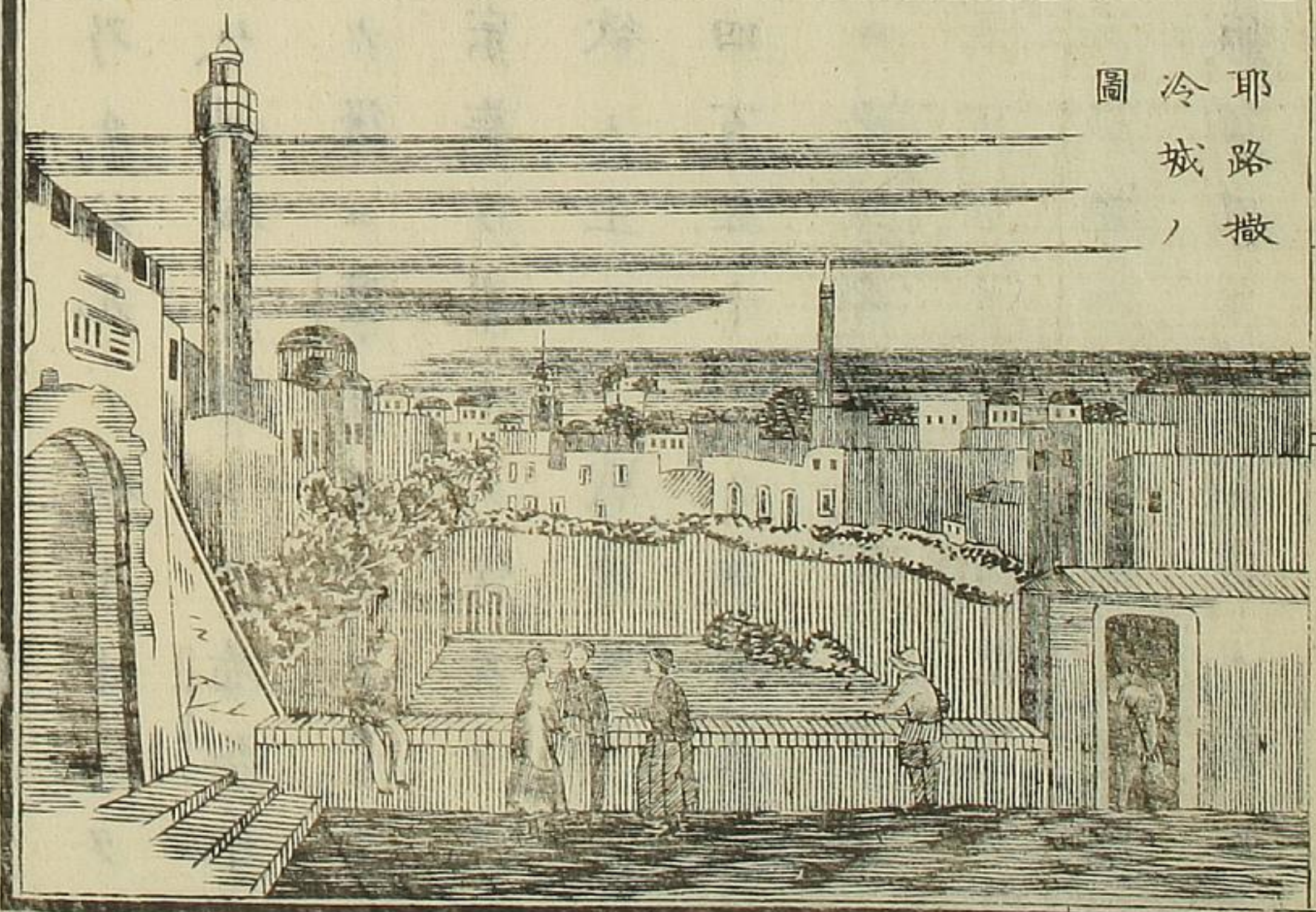
猶太國

大洪水ノ後、二百年ヲ經テ、亞伯刺罕ト云フモノ
アリ、希伯來國ノ酋長ノ子ニシテ亞細亞西部ニ
遊牧セル野民ナリ、一歳其族ト共ニ迦南今ノパ
ルチナノ地ニ移リ住ス、其孫雅各十二子アリ、
第十一子ヲ約瑟ト云フ、幼ヨリ侯及ノ奴トナレ
リ、其素性頗ル慧敏ナルヲ以テ、次第ニ登用セラ
レテ高官ニ至レリ、後數十年ヲ歴テ、諸國皆饑ウ、

侯及獨リ豐饒ナリ、約瑟乃チ父兄ノ族七十人ヲ
招キテ、侯及ニ移住セシム、此族ヲ稱シテ希伯來
人又ト伊色列ト云フト云フ、約瑟ノ後ニ摩西ト云フ者ア
リ、神聖ニシテ明德アリ、宗族ヲ率キテ、侯及ヨリ
歸リ、迦南ヲ征略セント欲シ、土人ト戦闘スルコ
ト累年、終ニ紀元前一千四百五十年ノ頃ニ至リ
全ク之ヲ征服シテ、相共ニ之ヲ分領ス、後三百五
十年ヲ經、合併シテ王國トナレリ、次テ大辟王ノ
代ニ至リ、耶路撒冷ヲ陷レテ、都ヲ此ニ定ム、是時
ニ方リ制度略備リテ、執政官及ヒ公裁官ノ設ア

リ、國勢益熾ニシテ、近隣
ヲ征討シ、大ニ版圖ヲ開
ケリ、嗣子撒路門王ニ至
リ、賢明ニシテ善ク政ヲ
治メ、技藝、文學愈隆盛ニ
至レリ、然レトモ晩年ニ
至リ、漸ク奢侈ニ移リ、耶
路撒冷ニ大城ヲ築キ、壯
麗ナル宮閣ヲ營ミ、逸樂
ヲ事トセリ、是ニ由テ上

耶路撒冷城ノ圖



下放逸怠慢ノ風ヲ生ス、嗣子囉破暗王立ツニ及
ヒ、不肖ニシテ國政擾亂ス、終ニ紀元前九百七十
年ノ頃、國內ニ部ニ分ル、一ヲ猶太ト云フ、耶路撒
冷ヲ都トス、一ヲ撒馬里亞一ニ伊色列ト云フト云フ、西士
ヲ都トス、此ニ國相親睦セスシテ、戰鬥止ムトキ
ナシ、且屢近隣ノ侵掠ヲ被リ、國勢次第ニ衰へ、終
ニ紀元前七百二十二年神武紀元前六十一年ニ
刺周平王三十五年ニ
至リ、撒馬里亞國ハ亞西里亞ノ為ニ滅ホサル、○
猶太國ハ猶久シク耶路撒冷ニ都スト雖モ、屢巴
比倫ノ攻撃ヲ受ケ、終ニ其管下ニ歸セリ、後巴比

萬國史略卷一

倫釁ヲ侯及ニ啓クニ及ヒ、猶太王攝多斯氏巴比倫ノ統轄ヲ脱センコトヲ欲シ、遂ニ侯及ト和ス、然ルニ侯及ノ軍、巴比倫ノ為ニ敗績スルニ及ヒ、巴比羅尼亞王尼布甲尼撒氏、大兵ヲ以テ猶太ニ侵入シ、耶路撒冷ヲ圍ムコト一歳半、悉ク府城堂宇ヲ燒夷シ、王屬ヲ鑿殺シ、國民ノ大半ヲ捕ヘテ巴比倫ニ送リタリ、實ニ紀元前五百八十八年神武周襄王三十三年東ナリ、猶太人、囚虜トナリテ、巴比倫ニ禁錮セラレ、ト七十一年、後波斯人為ニ巴比倫ノ滅セラル、ニ



耶穌教ヲ説クノ圖

當リ、猶太人ハ縦レテ國ニ歸ルコトヲ得、再ヒ耶路撒冷ニ都シテ、國ヲ建テ、波斯ニ隸屬ス、其後獨立シテ王國トナリ、復紀元前七十四年ニ至リ、羅馬ノ屬國トナル、國王ヘドラスノ代ニ當リ、洋教ノ始祖耶穌基督此國ニ降誕ス、此年ヲ紀元元年

ト定ム、國人基督ヲ嫉テ、十字架上ニ釘殺セリ此
時ニ方リ國政大ニ亂レ、終ニ紀元七十年羅馬帝
攻テ耶路撒冷ヲ陷レ、猶太人ヲ屠戮シ、都城為ニ
灰燼トナリ、餘衆四散シテ國全ク亡フ、

勿搦齊亞國

此國ハ地中海ノ東岸ニ在ル小國ニシテ、巴比倫
ノ盛ナル頃既ニ國ヲ建ツ、都ヲ西墩ト云フ、此國
王ヲ立テス、合衆政治ニシテ、專ラ通商貿易ヲ為
シ、航海ノ業、尤盛ニシテ地中海諸島、亞弗利加及
ヒ西班牙ニ至マテ、常ニ來往シテ、其產物ヲ販賣

シ、且其地ニ殖民スルコト甚タ多シ、國內ニハ數
港ハ貿易場ヲ開キ、就中多路尤ヒ繁盛ヲ大セリ、
猶太王大辟氏ノ時、船ヲ紅海ニ出タシ、亞弗利加
洲ヲ一周シ、地中海ヲ廻リテ歸國セシコトアリ、
殊ニ亞細亞諸國トノ交易、頗ル盛ニシテ、毎ニ駱
駝ヲ以テ輻重ヲ運輸セリ、蓋シ此國ノ人民ハ、能
ク勉勵シテ業ヲ怠ラス、諸國ノ民ト相親和シテ、
交易スルヲ首ト為シ、自國ノ發明アレハ、之ヲ他
邦ニ傳ヘ、他國ノ發明ハ、之ヲ自國ニ學ヒ、互ニ生
産ニ便ナラシム、故ニ上古ニ在テ、文化風ニ開ケ

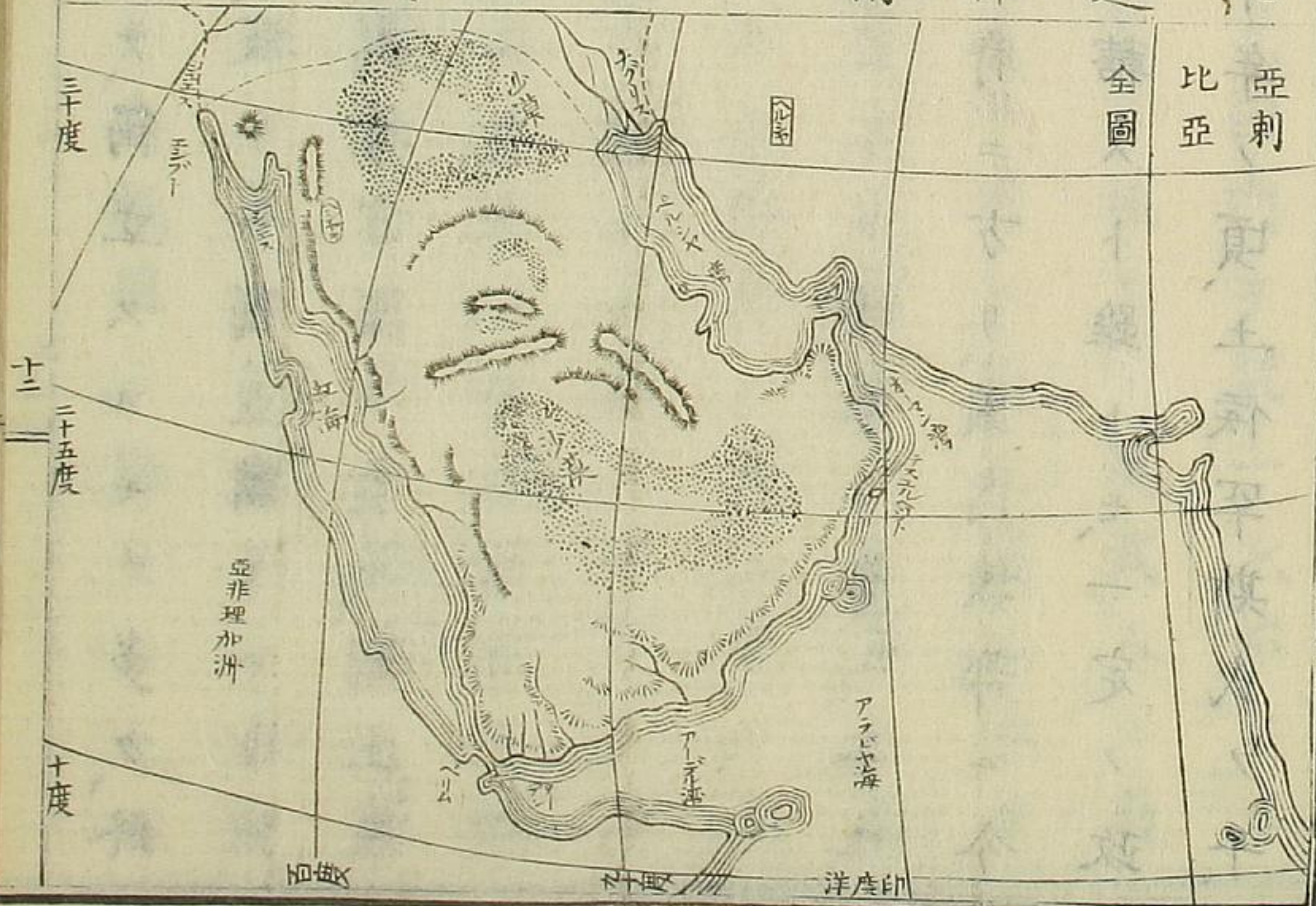
盛大富饒ヲナセリ、殊ニ文字、數字、算術等ハ此國ノ發明ニシテ、諸國ニ傳播スト云フ、國人皆溫柔ニシテ争鬪ヲ好マス、兵權ヲ備ヘザルカ故ニ、近隣ニ暴戾ノ徒アルトキハ、忽チ進撃ヲ被リ、奪掠ヲ防クノ術ナシ、遂ニ數百年ヲ經テ波斯國ノ侵掠ヲ受ケ、之ニ隸屬シ、後歷山王ノ波斯ヲ伐ツニ當リ、暫ク舊ニ復スト雖トモ、國体衰微シ土地大ニ荒廢シ、紀元前三百餘年ニ至リ、歷山王自ラ之ヲ攻畧シテ、有名ノ交易場ヲ希臘ニ移セシヨリ、全國悉ク滅亡セリ

亞刺比亞國

亞細亞ノ西南隅ニ在テ紅海ト波斯灣ノ間ニ突出シタル半島國ナリ、幅員廣大ニシテ殆ト日耳曼ノ四倍アリ、然レトモ、内部ハ大率磽确沙漠ニシテ、人民ノ住スヘキ地ハ、僅ニ十分一二過キス
○上古ノ民ハ定レル居處ナク、水草ヲ逐フテ各地ニ轉移シ、帳幕ヲ張テ、其中ニ棲息ス、多クハ盜賊ヲ業トシ、旅人ヲ掠奪ス、又牧畜ヲ務メ、隊商ヲ事トシ、他國ト交易スルモノアリ、土俗皆猛暴ニシテ、更ニ文化ニ進マス、故ニ記事文簿ノ類無キ

ヲ以テ開闢以來ノ事歴ヲ詳ニスルコトヲ得ス
 紀元五百七十一年欽明天皇廿三年回教ノ祖摩
 哈麥ト云フモノ、麥加ノ地ニ生レ回教ノ徒ハ此
 元年、四十二シテ、新教ヲ衆人ニ傳フ、六百二十
 二年ノ頃ヨリ、土人此教ニ歸スルモノ多ク、尋テ
 門徒數万人ニ至リ、摩哈麥ヲ奉シテ法王ト稱シ、
 兵力ヲ以テ四隣ヲ攻略シ、次第ニ版圖ヲ擴メタ
 リ、六百三十二年舒明天皇四年○開祖摩哈麥歿
 スルニ及ヒ、嗣テ法王トナルモノヲ神裔ト号シ、
 兵勢益熾ニシテ、隣邦ヲ侵掠シ、百餘年ヲ出ズシ

テ、大ニ版圖ヲ開キ、東北
 ハ印度波斯土耳其ニ達
 シ、西ハ亞弗利加ノ北部
 西班牙及ヒ伊太利ノ南
 部ヨリ、地中海ノ諸島ヲ
 合セ、威權海内ヲ振蕩セ
 リ、八百二十年ノ頃、法王
 ハロシ、アルアシット氏
 版圖ヲ三子ニ分チ、與ヘ
 シヨリ、互ニ親睦セスシ



萬國史略卷一
 回教ノ祖摩哈麥

テ屢戰鬪シ、邦土分裂シテ、獨立スルモノ多ク、終ニ波斯土耳其ノ如キモ、叛キテ獨立國トナリ、法王ノ版圖、次第ニ縮小シ、威權亦隨テ衰へ、嗣王數世相繼テ空位ヲ守リ、終ニ紀元一千二百年ノ頃、蒙古ノ鐵木真 元祖ノノ為ニ滅セラレ

波斯國

此國上古ハ遊牧ノ野民ニシテ、帳幕ヲ携へ、各地ニ遷移スルモノナリ、此時ニ方リ、國內數部ニ分レ各酋長アリテ、之ヲ統轄スト雖トモ、一定ノ政令ナシ、紀元前五百六十年ノ頃、土侯罕斯氏ノ子

居魯士氏ナルモノ起リテ、國內ヲ統一シ、始テ王國トナレリ、之ヲ波斯國王ノ祖トス、英武人ニ過キ、汎愛ニシテ衆心ヲ得タリ、時ニ馬太國王暴虐ニシテ國人目ヲ側ツ、居魯士王因テ兵ヲ募テ馬太ヲ攻メ、其將士ヲ戮シ、王ヲ城外ニ逐ヒ、兼テ近傍ノ衆小部ヲ併セタリ、又呂底亞國ヲ平定シ、尋テ巴比倫ヲ滅ホシ、猶太人ノ囚レテ、巴比倫ニ在ルモノヲ縱シテ、本國ニ歸ラシメ、終ニ猶太ヲ麾下ニ屬ス、又印度ヲ掠畧シテ、東ハ印度河ニ接シ、西ハ地中海ニ濱シテ、悉ク其版圖ニ歸セシム、次

テ亞弗利加ヲ征討シテ其北部ヲ蚕食ス、居魯士
 王歿スルニ及ヒテ、長子乾比西嗣テ立チ、亦強暴
 ニシテ掠畧ヲ恣ニシ、屢亞弗利加ヲ征伐ス、乾比
 西氏歿シテ、親族太流士氏位ニ即キ國內ヲ二十
 州ニ分チ、頭目ヲ置テ之ヲ守ラシメ、國勢頗ル隆
 盛ニ至リ、遂ニ歐羅巴洲ヲ併吞セント欲シ、紀元
 前四百九十年懿德天皇二十一年ニ至リ、海陸ノ
 大軍十萬ヲ以テ希臘ニ侵入シ、會戰數次、終ニ大
 敗シテ軍ヲ班ス、此時大流士王途ニシテ歿ス、嗣
 王澤耳士位ニ即クニ及テ、父志ヲ繼キ、又海陸ノ

大軍ノ率キテ希臘ニ侵入シ、劇戰スト雖トモ、大
 ニ希臘人ノ為ニ敗ラレ、王纔ニ身ヲ以テ脱スル
 ニ至ル、是ヨリ國力大ニ疲勞シ、加フルニ諸州ノ
 頭目、獨立割據ヲ謀ルモノアリテ、内亂屢起リ、國
 勢次第ニ衰フ、爾後大流士氏王位ヲ嗣キ、カメテ
 頽勢ヲ挽回セント欲スレトモ、衰弊既ニ甚シキ
 ヲ以テ、遂ニ復スルコト能ハス、是時ニ方リ希臘
 ノ歷山王大兵ヲ以テ亞細亞ニ侵入ス、波斯王國
 カヲ盡クシテ、之ト逆戰スルコト三四、皆其鏖殺
 スル所トナリ、都城悉ク陥リ、邦土全ク歷山王ノ

版圖ニ歸ス、大流士王亦其下ノ為ニ弑セラレ、全
 國遂ニ亡フ、實ニ紀元前三百三十年孝安天皇六年
 十九年三ニシテ、居魯士建國ヨリ二百三十年ナリ、
 其後或ハ獨立國トナリ、或ハ西利亞ニ隸屬シ、數
 百年間沿革一ナラス、後回教ノ兵盛ナルニ及テ、
 其屬國トナリ、又數十年ヲ歷テ蒙古ノ鐵木真ノ
 合併スル所トナリ、後復獨立スト雖モ韃靼ノ為
 ニ滅サル、○紀元一千五百六十五年正親町天皇
永錄八年、明
世崇嘉靖ニ至タリ、沙馬何美ト云フ者、都魯機ノ
 屬ヨリ起リテ、全國ヲ一統シ、獨立國トナル、之ヲ

波斯新朝ノ祖トス、其孫アバース一世位ニ即キ、更
 ニ兵カラテ以テ四隣ヲ攻畧シ、封土ヲ廣メ、東ハ印
 度河ニ至リ、西ハ地革里河ニ境シ、悉ク其版圖ニ
 歸ス、嗣王皆暗庸ニシテ國勢漸ク衰ヘ、邦土分裂
 シテ内亂止マス、終ニ一千七百四十一年櫻町天
元年、清高宗ニ至リ、亞加業坦皮路直坦皇寬保叛テ獨立
 國トナリ、又近年魯西亞ノ侵掠ヲ被リテ、其北境
 ヲ割キ、版圖愈縮小シテ、近世ノ形勢ニ至レリ

亞細亞土耳其

亞細亞ノ西隅ニ在テ、黑海ト地中海ノ間ニ突出

萬國史略卷一

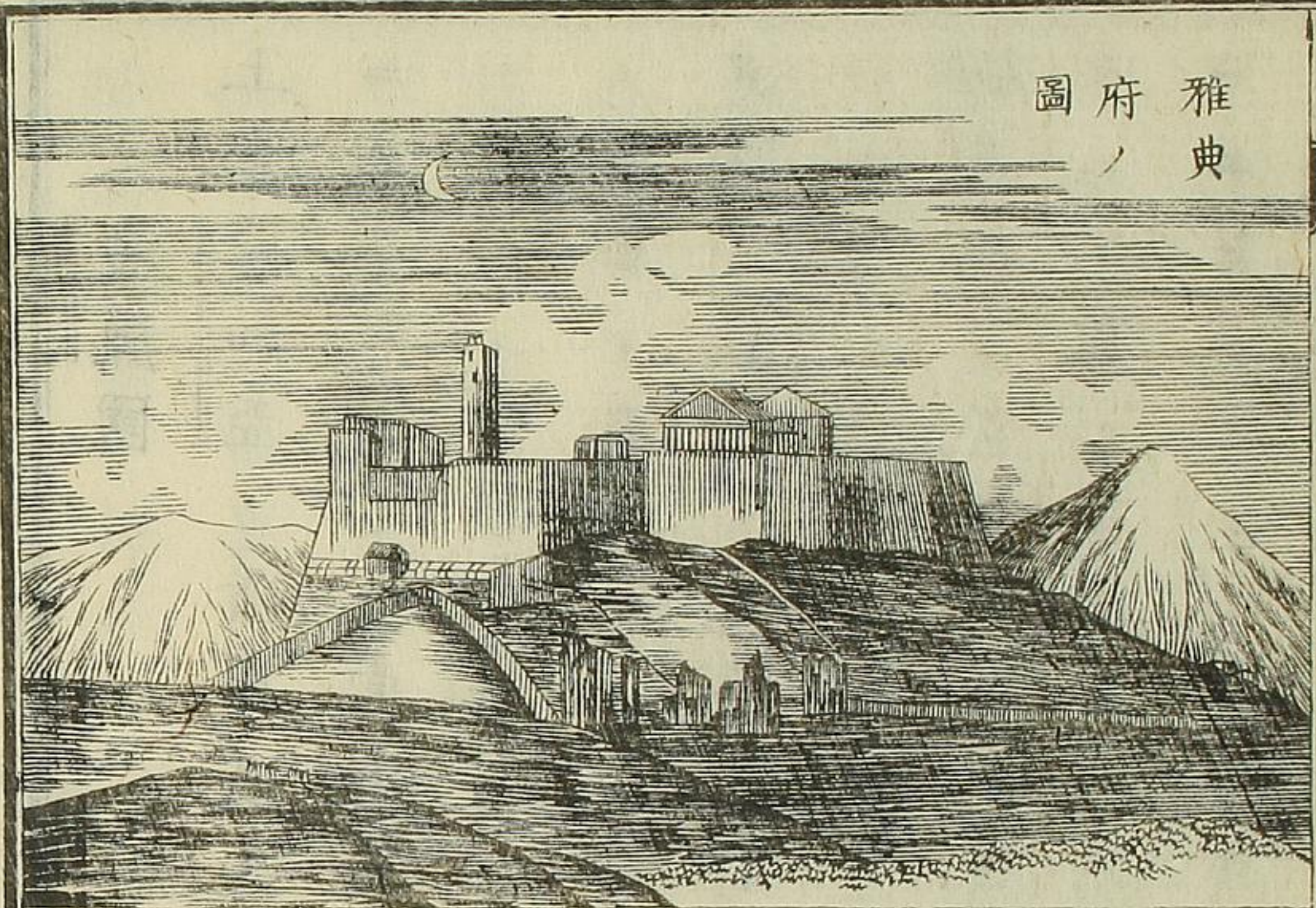
シ、波斯ノ西ヨリ亞刺比亞、亞弗利加ニ接ス、古來有名ノ地ニシテ、世界開闢ノ始祖、此地ニ降生シ、又大洪水ノ後、諾威亦此領内ニ住セリ、爾後勿榻齊亞及ヒ猶太ノ建國アリ蓋シ三千餘年前、亞西里亞、巴比倫ノ盛ナル頃、其統轄ニ歸シ、後波斯ノ屬國トナリ、復希臘ノ版圖ニ屬シ、羅馬ノ盛ナル頃、其領地トナリ、紀元六百三十年ノ頃ヨリ、回教ノ隸屬トナリ、後又蒙古ノ侵掠ヲ受ケ、爾後漸ク土耳其ニ攻畧セラレ、紀元四百五十年ヨリ全國皆其版圖ニ歸セリ

猶歐羅巴土耳其部ヲ合セ見ルベシ

希臘國

上古亞細亞ノ諸國、及ヒ埃及ノ既ニ盛ナルトキニ方リ、歐羅巴ハ、尚野民ノ巢窟ニシテ、更ニ開化ニ向ハス、爾後希臘國ヨリ次第ニ開ク、終ニ近代ノ隆盛ヲ為スニ至レリ、故ニ希臘ヲ以テ歐羅巴建國ノ始祖トス、蓋シ其初ハ渺茫トシテ、憑据スヘキモノ少シト雖トモ、大約三千五百年前、勿榻齊亞及ヒ埃及ヨリ人民、漸ク遷徙シテ、封國ヲ為セシト見ユ、其埃及ヨリ數多ノ人民ヲ率斗テ、來レルモノヲソコロプス氏ト云フ、是雅典國ノ始

雅典府ノ圖



祖ナリ、ソコロプス氏小國ヲ興シ、土人ヲ懷ケ、法律ヲ定メ、又建築、航海ノ道ヲ教ヘタリ、其子テセウス氏、繼テ立チ、英邁ニテ、政事ヲ改革シ、封土ヲ拓キ、國內ヲ分テ數個ノ小部落トナス、此時甲抹氏ナルモノ、勿擲齊亞國ヨリ来リ、テベ國ヲ建

テ、文字ヲ希臘ニ傳ス、爾後三四百年ヲ經テ、各部次第ニ繁盛シ、域内數多ク封國ヲ為セリ、之ヲ希臘同盟諸國ト云フ、就中雅典士帕太テベアルゴス最盛ナリ、○此數國各盟約シテ、相親ミ、歲月ヲ期シテ集會シ、互ニ國事ヲ商議セリ、又文武藝術ヲ礪キ、互ニ煉磨シテ、其精ヲ競ヒ、竟ニ歐洲開化ノ基礎ヲ開ケリ、○紀元千二百余年前アルゴス國王ト、テベ國王ト戰鬪ヲ起シ、各邦皆力ヲアルゴスニ協セテ、テベ國ヲ圍ミシコトアリ、此時ニ方リ小亞細亞ニアル希臘同盟ノ一ナル特羅

萬國史略卷一
亞國ノ太子帕哩ト云フモノ海ヲ渡テ希臘ニ遊
歴ス、士帕太王厚ク之ヲ遇ス、太子茲ニ起臥シテ、
私ニ王妃ヲ誘ヒ、自國ニ遁レ歸レリ、是ニ於テ希
臘ノ各邦大ニ怒リ、連合シテ大軍ヲ發シ特羅亞
ニ向ヒ、連戦スルコト十歳、紀元一千百九十年前
神武紀元前五百三大ニ特羅亞ノ軍ヲ破リ、其都
十年支那商ノ中葉城ヲ燒夷セリ、然レトモ此戰捷ヨリ、希臘人大ニ
驕心ヲ生シ、以為ラク國力ヲ竭クシテ、向フトキ
ハ其勢敵ナシト、是ヨリ各邦相凌蔑シテ、屢戰闘
シ、内亂止マス、國內瓦解シ、數百年ノ間、互ニ興衰

アリテ、雅典士帕太ノ二國、最モ強盛ヲ致セリ、殊
ニ雅典ハ數名ノ英傑アリテ、法制ヲ改定シ、權勢
頗ル希臘ノ各邦ヲ壓スルニ至ル
紀元前四百九十年懿德天皇二十一年波斯王大
流士氏十萬ノ大軍ヲ率キテ、希臘ニ侵入シ、雅典
ニ向フ、希臘ノ各邦、連合シテ、邀戦シ、大ニ波斯ノ
軍ヲ破リ、之ヲ境外ニ逐フ、太流士王モ途ニシテ
死ス、次テ十年ヲ經テ、波斯王再ヒ海陸ノ大軍ヲ
率キテ、侵入スレトモ、希臘人カヲ協セテ、之ヲ禦
キ、遂ニ又波斯ノ軍ヲ破レリ、此役ニ於テ、最モ大

切ヲ奏セシハ多ク雅典
 人ナルヲ以テ、爾後大ニ
 權勢ヲ擅ニシ、各邦ヨリ
 波斯ヲ伐ツ為ニ集メタ
 ル貨財ヲ掠奪スルニ至
 ル、士帕太人殊ニ雅典ノ
 驕横縱恣ナルヲ怒リ、希
 臘ノ各邦ト合シテ、雅典
 ヲ圍之、紀元前四年其都
 城ヲ毀テ、國政ヲ廢シ、逼

希臘人、波斯ノ海陸軍ヲ破ル



テ和ヲ乞ハシム、爾來士帕太人、驕傲自負シテ、他
 ノ各邦ヲ輕視スルコト甚太クシタ、國內分裂セ
 リ、此ニ於テ雅典人、復城郭ヲ營ミ、勉テ國ヲ富マ
 シ、文化ヲ進ムルコトヲ首トナセリ、之ニ因リテ
 都城再ヒ充臬シ、旺盛ナルコト舊ニ倍蓰ス、此時
 ニ方リ希臘人、兵ヲ進メテ、亞細亞ニ入り、波斯ト
 三十年間戰鬪シ、毎ニ勝利ヲ得ルニ由リ、希臘ノ
 國勢益隆盛富強ニシテ、文武ノ藝術製造等大ニ
 開ケ、殊ニ雅典ハ更ニ繁盛ニシテ、殿閣佛寺等、華
 美ヲ盡クシ、他ニ及フモノナキニ至ル、此ニ由テ

士帕太人大ニ之ヲ嫉ミ、又争端ヲ開キ、兩邦二十
七年間ノ戰亂トナリ、終ニ雅典ノ隣邦、互ニ合從
シテ大ニ士帕太ヲ破レリ、然レトモ是ヨリ各邦
互ニ不和ヲ生シ相睨視シテ、隣國ヲ併吞センコ
トヲ謀リ、域内大ニ騷擾ス○紀元前三百六十年
ノ頃ヨリ、北方ノ隣國ナル馬基頓ノ勢、稍盛ニレ
テ隣邦ヲ掠略スルノ志アリ、殊ニ國王不里布氏
ハ權謀アリテ、能ク希臘人ノ志ヲ得タリ、是ニ於
テ希臘ノ各邦私ニ馬基頓ト合シ、互ニ征服セン
コトヲ謀リ、皆兵權ヲ以テ不里布王ニ委ネタリ、

紀元前三百三十八年ノ頃、不里布王希臘ノ軍ヲ
率キテ、波斯ヲ伐テ、大ニ之ヲ破ルニ於テ、威權益
々全國ニ及ヒタリ、其歿スルニ及ヒ、太子歷山王
歳十八ニシテ位ニ即ク、濶達英果ニシテ能ク兵
ヲ用キ、首トシテテベ國ヲ滅ホシ各邦ノ兵權ヲ
總轄シテ、全國ヲ服從セシメ希臘國王トナリ、遂
ニ大軍ヲ率キテ亞細亞ニ侵入シ、紀元前三百二
十年孝安天皇六十三年波斯國ヲ進撃シ、大戰數
回、盡ク之ヲ麀殺シ、全ク波斯國ヲ滅ホシ、邦土皆
其領地ニ歸セシム、次テ亞弗利加ヲ征討シ、又四

隣ヲ攻略シテ、大ニ版圖ヲ擴メ、功臣ヲ封シテ諸侯トナシ、後又印度ヲ進撃シテ、威名ヲ海内ニ轟カセリ、紀元前三百二十三年（孝安天皇七十年、東周顯王四十六年）歷山王歿スルニ及ヒ、各洲ノ諸侯、獨立シテ邦土忽チ分裂シ、國勢頓ニ衰へ、次テ内亂相踵キ、鬭爭止マヌ、各邦互ニ興廢アリ、降テ羅馬ノ四隣ヲ蠶食スルニ當リ、紀元百四十六年（成務天皇十六年、後漢質帝本初元年）遂ニ其領地ニ歸シ、各邦悉ク亡フ、爾後紀元五百年ノ頃、亞細亞内地ノ野民歐羅巴ニ侵入スルニ當リ、屢其攻掠ヲ被リ、都城大率焦土トナレリ

後又土耳其ノ西侵スルニ及ヒ、紀元千四百年ノ頃ヨリ、次第ニ攻畧ヲ受ケ、全國終ニ其併呑スル所トナリ、數百年間其凌虐ヲ被リ、國人苛酷ノ政令ニ堪ヘスシテ、五十余年前ヨリ、漸ク獨立ヲ謀リ、相擧テ兵ヲ起シ、土耳其ニ叛キ死カヲ盡シテ戰鬪ス、然レトモ衆寡敵セス、殆ト鎮壓セラレントス、此ニ於テ英佛魯等ノ列國、兵ヲ擧ケテ之ヲ援ケ、終ニ土耳其ノ海軍ヲ拿巴厘ニ破リ、紀元一千八百二十九年、漸ク獨立ヲ為スヲ得タリ、此時國体ヲ合衆政治トナシ、後巴威里ノ公族阿多一

世ヲ迎ヘテ王ト為シ、始メテ王國ト稱ス、是紀元
一千八百三十二年ナリ、此王不徳ニシテ人望ヲ
失フニ由リ、國人之ヲ廢シ、一千八百六十年復、
國ノ公子惹爾一世ヲ迎ヘテ王トス、是近代ノ國
王ナリ

羅馬國

此國ハ亞西里亞ノ盛ナル頃、土人ノ部落ヲ為ス
ニ過キス、後希臘亞細亞ノ人民、漸ク遷徙シテ土
人ト雜居シ、稍人口ヲ增セリ、降テ希臘ノ盛ナル
ニ及ヒ、以太利ノ中土ヨリ起リ、次第ニ強盛ヲ極

メ、終ニ四海ヲ振蕩スルノ勢ニ至レリ、
ノ初ヲ考フルニ、紀元前一千九十年ノ頃、希臘
人舉テ、小亞細亞ノ特羅亞ヲ攻メ、陷ル、トキ、特
羅亞ノ將伊尼亞私ナルモノ、逃レテ城ヲ出テ、海
ニ航シテ、以太利ニ至リ、羅甸ト云フ地ニ上陸シ、
厚ク其地ノ首長ト交リ、終ニ其女ヲ娶レリ、其子
始メテ都城ヲ築ク、之ヲ亞兒巴城ト云ヒ、國号ヲ
羅甸ト稱ス、爾後亞兒巴王ノ子孫、數世四百余年
ヲ經テ、奴迷士亞慕路ノ兄弟アリ、互ニ位ヲ爭ヒ、
亞慕路遂ニ王位ヲ強奪シテ、其兄奴迷士ヲ退ケ、

牧子ノ二ノレテ助ル
夫子河捨ラタラク
圖



村里ニ幽閉シ、男子ヲ殺
シ女子ヲ尼トナセリ、後
此女、私ニ二男子ヲ生ム、
亞慕路王又之ヲ河ニ投
ス、然レトモ幸ニ死セス
シテ、淺處ニ止マレリ、此
トキ牧人某ナルモノ、二
子ヲ舉ケテ、家ニ歸リ、家
婦ニ囑シテ、私ニ之ヲ掬
養ス、此兄弟ヲ羅慕路列

慕士ト云フ、人ト為ルニ及ヒ勇悍豪邁ニシテ天
稟ノ資才ナリ、奴迷士一日、此二子ヲ視テ、容貌俊
偉ナルヲ訝リ、切ニ牧人ニ問ヒ、其實ヲ得タリ、是
ニ於テ兄弟始テ奴迷士ノ孫ナルコトヲ知リ、是
ヨリ亞慕路ノ王位ヲ強奪スルヲ怒リ、私ニ黨與
ヲ集結シ、其徒ヲ率キテ亞兒巴城ヲ襲ヒ、護兵ヲ
破テ宮中ニ入り、亞慕路ヲ捕テ之ヲ斬リ、奴迷士
ヲ王位ニ即カシメタリ、後兄弟ハ亞兒巴城ニ在
ルコトヲ欲セス、終ニ近隣ノ地ヲトシテ、一城ヲ
經營ス、之ヲ羅馬ト云ス、紀元前七百五十三年神武

紀元前九十三年 ○東

羅慕路王遷テ此ニ都ス之

羅馬建國ノ始祖トス

羅慕路王既ニ羅馬王トナリ、令シテ近國ノ士民ヲ集招シ、新城ニ遷ラシメ、以テ人口ヲ増加スルコトヲ務メタリ、後、部衆漸ク繁衍ヲ致スニ及ヒ、終ニ撒便國ヲ併セ、又近隣ヲ征服シテ其地ヲ奪ヒ、次第ニ版圖ヲ廣大ニ為セリ、○羅慕路王隣邦ヲ統一シテ、能ク心ヲ政事ニ留メ、賢能ヲ撰ミテ會議官ト為シ、國政ヲ輔佐セシム、是ニ因テ政律厘正シ、國躰嚴莊ナリ、然レトモ近隣ノ部落羅馬

ノ為ニ蠶食セラレ、其人民ノ羅馬ニ遷住スルモノヲ庶族ト稱シ、舊來ノ人民ヲ貴族ト稱シ、大ニ權カヲ令テリ、貴族ハ毎ニ庶族ヲ輕視シ、肆ニ凌虐ヲ加ヘ、甚シキハ其利ヲ奪ヒ、之ヲ奴僕視スルニ至ル、蓋シ後來羅馬ノ國亂ハ此兩族ノ啓釁ニ因ルモノニシテ、播テ歐羅巴諸洲ノ内亂、頗ル此弊害ヨリ起ルモノ多シト云フ

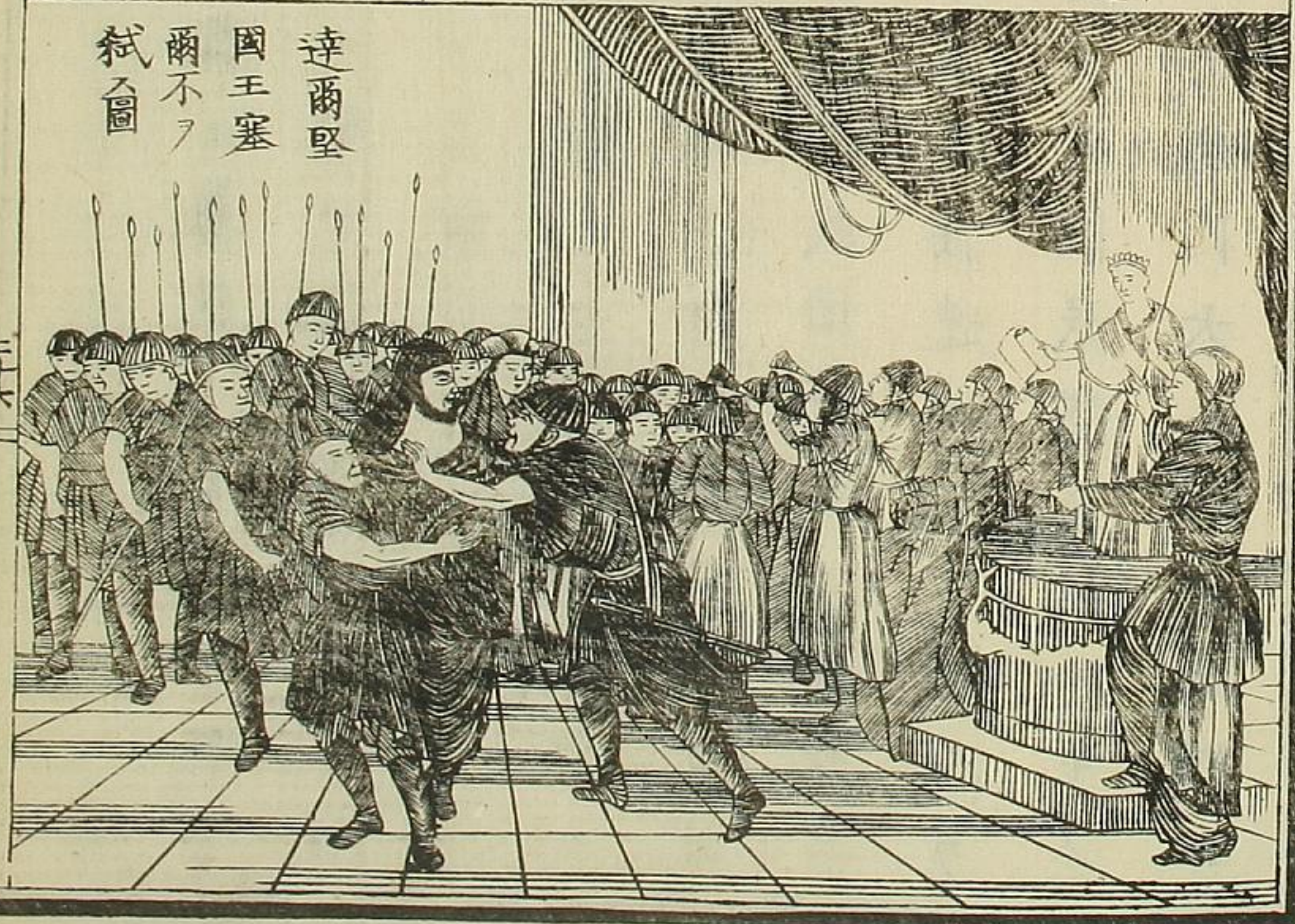
羅慕路王位ニ在ルコト三十七年ニシテ殂シ、繼嗣定マラス、國人努馬ヲ推シテ位ニ即カシム、賢明溫柔ニシテ、政ヲ治メ善ク隣國ト交リ、釁隙ヲ

啓キ、兵馬ヲ構スルコトヲ禁スル故ニ、國內安寧ニシテ、頗ル無事ニ属セリ、○努馬王歿シテ國人多路ヲ撰ミテ、王位ヲ嗣カシム、能ク民間ノ疾苦ヲ察シテ、國民ヲ安撫セリ、多路王治世ノ時、亞兒巴國ト爭端ヲ開キ、遂ニ戰鬪ニ及ハントス、此時兩國ノ民、相約シテ各勇士ヲ撰ミ、共ニ鬪格セシム、其雌雄ヲ以テ、兩國ノ勝敗ヲ決セント定ム、是ニ於テ羅馬國ヨリホラシト云ヘル兄弟三人ヲ出タシ、亞兒巴國ヨリクヲシト云ヘル兄弟三人ヲ出タシ、以テ戰ヲ決セシム、ホラシト此ト

キ、クラシトニ勝チ亞兒巴國、終ニ羅馬ノ属國トナリ、一時兩國平和スト雖トモ、亞兒巴人固ヨリ心服スルニ非サレハ、忽チ禍心發跡スルニ及ヒ羅馬人兵ヲ遣テ亞兒巴國ヲ伐チ、其都城ヲ勒威セリ
多路王歿シテ、努馬ノ孫安癸王立チ、益四隣ヲ攻略シ、版圖ヲ廣メ、京城モ亦隨テ廣大ニ趣キ、人口頗ル繁殖セリ、此トキ路斯ト云フモノ、他邦ヨリ徙テ羅馬ニ住ス、溫柔ニシテ權畧アリ、終ニ羅馬ノ大臣トナレリ、○安癸王歿スルノ後、其子幼冲

ナルヲ以テ路斯政ヲ攝シ、終ニ王位ニ昇レリ、此
 人政ヲ為スニ當リ事々其宜キヲ得テ、國人悦服
 ス、又武ヲ好ミテ疆土ヲ開キ、且土木ヲ起シテ、大
 ニ京城ヲ修飾セリ
 路斯王歿シテ、義子塞爾不氏位ヲ嗣キ、聰明敏達
 ニシテ、能ク民情ヲ察シ、庶民ヲ愛撫シテ、稍自由
 ヲ保護シ、又貴族ノ權ヲ削テ、其專横ナルヲ抑制
 セリ、是ヲ以テ國人悦服シ、大ニ庶族ノ驩心ヲ収
 メタリ、然レドモ貴族ハ、其已ニ便ナラサルヲ以
 テ次第ニ嫉惡ノ念ヲ増シ、私ニ黨與ヲ結テ、國王

ヲ倒シコトヲ謀レリ
 ○茲ニ前王ノ長子ニ、達
 爾堅ナルモノアリ、殘虐
 驕横ニシテ、常ニ覬覦ノ
 志ヲ懷ケリ、貴族ハ多ク
 國王ヲ疾怨スルヲ視テ、
 竊ニ之ヲ煽動シ、黨與ヲ
 結テ、隱ニ不軌ヲ謀リ、終
 ニ紀元前五百三十七年、
 國王ヲ弑シテ、王位ニ昇



達爾堅
 國王塞
 爾不ヲ
 弑圖

レリ

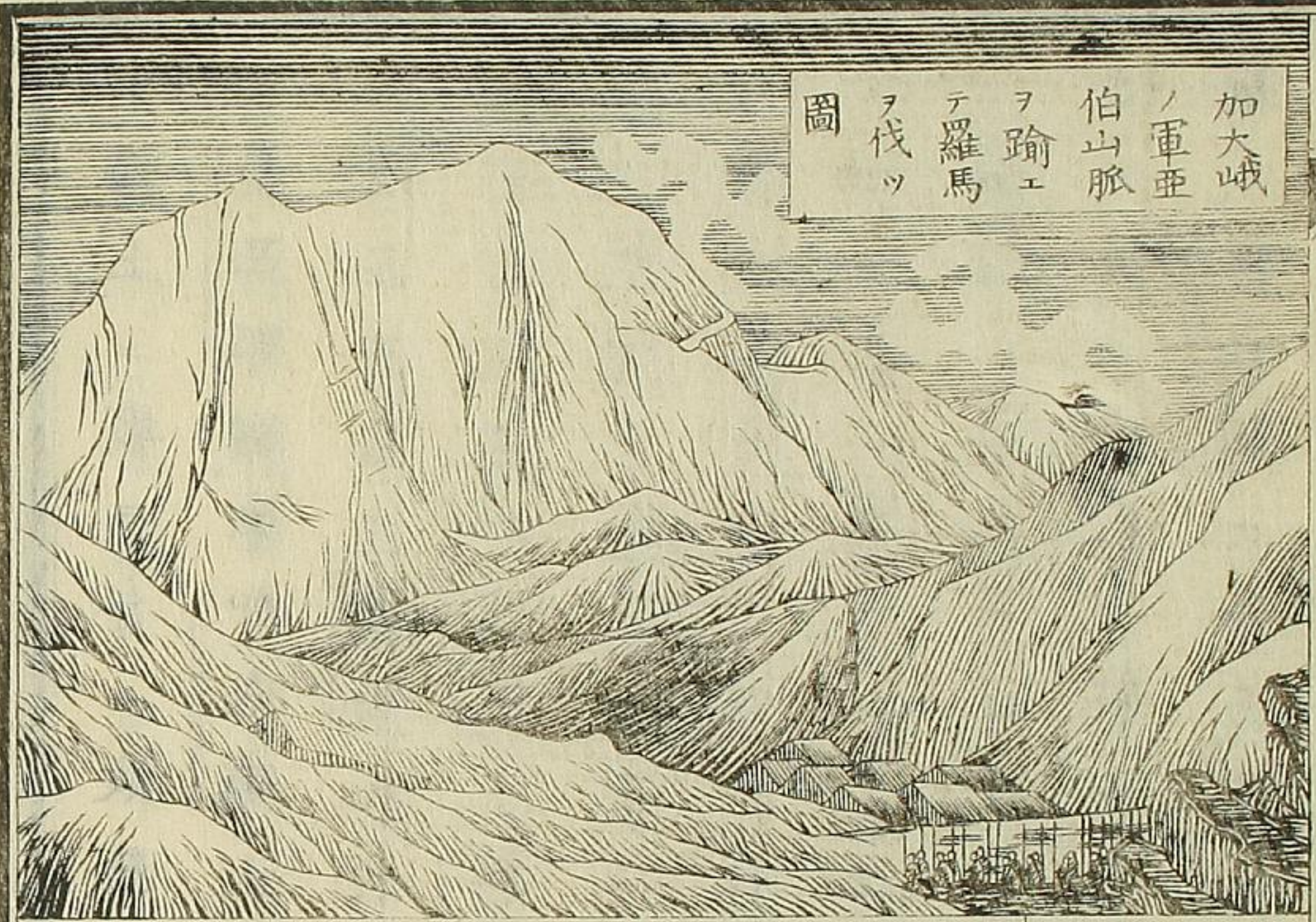
達爾堅既ニ國王ト為リ、益々暴戾ニシテ、賤民ヲ
 虐使シ、奢侈ヲ窮極ス、是ニ於テ國人其苛政ニ堪
 フルコト能ハス、多ク逃レテ他邦ニ移ルモノア
 ルニ至ル、國王ハ毫モ之ヲ顧ミス、益土木ヲ起シ、
 賦役ヲ重クス、加之肆ニ兵馬ヲ動カシ、近隣ヲ攻
 撃スルヲ以テ、國用贍ラス、庶民困弊シテ、餓死ス
 ルモノ多シ、且其太子措古多滯逆ニシテ、國人ヲ
 汚辱スルコト屢ナリ、是ヨリ國民怨望スルモノ、
 次第ニ多ク、内亂紛起シテ、域内大ニ騷擾ス、時ニ

將校不羅多ナルモノ兵ヲ舉ケテ國王ニ叛キ、羅
 馬府ニ向フ、府民舉テ之ニ與ル、終ニ王ノ軍ヲ
 破リ、太子ヲ殺シ、國王ヲ城外ニ放逐シ、紀元前五
 百十年懿德天皇元年會議官ヲ設ケ、國体ヲ一變
 シテ、共和政治トナシ、國人不羅多ヲ推シテ頭領
 トナセリ、蓋シ羅馬ハ羅慕路建國ヨリ、王國タル
 コト、二百四十三年ニシテ、又合衆國トナレリ
 抑羅馬ノ人民ハ勇武ニシテ、戰ヲ好ミ、隣邦ヲ攻
 畧シ、終ニ伊太利全國ヲ併吞スルノ念アリ、此時
 ニ方テ羅馬ノ東南ニ撒暴尼丁國アリ、其人民驍

勇ニシテ、亦伊太利ヲ統一セントス、此ニ於テ羅馬ト兵ヲ構スルコト三次、大戰數回、二十餘年ヲ歴、羅馬終ニ撒暴尼丁ヲ征服シ、尋テ南方ノ諸部ヲ合セ、紀元前二百七十年ノ頃ニ至リ、伊太利ヲ一統シ疆土日ニ開テ、國勢益盛大ニ赴ケリ
羅馬人既ニ伊太利全洲ヲ取り、次テ地中海ノ西細里島ヲ奪ハントス、此島ハ既ニ亞弗利加ノ迦太峨ノ領地ニ歸ス、因テ紀元前二百六十四年ヨリ戰端ヲ關キ二十三年ノ間、大戰場トナリ、初メハ羅馬人軍艦ニ乏シク、海軍ニ拙ナルヲ以テ、地

中海上ニ戰テ每ニ敗績ス、此時加太峨ノ隣邦ナル墨西那國、屢加太峨ノ侵撃ヲ被ルニ因リ、羅馬ニ援兵ヲ乞フ、羅馬人大ニ悦テ之ヲ諾シ、墨西那人ト合シテ、加大峨ト戰ヒ、敵艦ヲ獲テ直ニ之ニ効ヒ、船隊ヲ編制シ、屢々海上ニ戰テ、勝利ヲ得、終ニ紀元二百四十一年前、加大峨ヲシテ西細里島ヲ割キ、和ヲ構セシム、後三年ヲ歷テ、和親再ヒ破リ、戰鬪ニ及ヒタリ、此トキ加大峨ノ名將漢尼巴ナルモノ大兵ヲ率ヰテ西班牙ヨリア伯山脉ヲ踰エ、伊太利ニ入り、速ニ城堡ヲ陥ヒ、長驅シテ羅

加大峨ノ軍亞伯山脈ヲ踰エテ羅馬ヲ伐ツ



馬ニ逼ル羅馬人、カヲ盡シテ防戦スト雖モ、漢尼巴ノ兵勢殊ニ猛烈ニシテ、支フルコト能ハス、十七年間、加大峨ノ兵、國內ヲ蹂躪シテ、羅馬府殊ニ危急ニ至レリ此トキ羅馬ノ將スシピヲナルモノ、別ニ軍ヲ率キテ西班牙ニ入り、加大峨ノ軍ヲ

敗リ次テ亞弗利加ニ向ヒ、其都城ヲ襲フノ勢アリ、是ニ於テ加大峨人、急ニ漢尼巴ヲ召還ス、漢尼巴還テ亞弗利加ニ入り、スシピヲト會戦シテ、大ニ敗衄ス、是ニ於テ加大峨終ニ力屈シテ、和ヲ乞フニ至リ、巨萬ノ償金ヲ出サシメ、且本國ノ外、盡ク其領地ヲ羅馬ニ入レシメタリ、是ヨリ又小亞細亞ノ西里亞ヲ掠畧シ、次テ埃及ヲ征討シ、紀元前百五十六年、悉ク之ヲ亡ホシテ領地ニ歸セリ、加大峨ハ數回ノ戦争ニ敗績シ、國力大ニ疲勞スルヲ以テ、國政ヲ改メ、法律ヲ正シ、務メテ貿易ヲ

盛ニシ、頽勢ヲ挽回セントス、羅馬人之ヲ忌ミ、屢々苛酷ノ命ヲ以テ、其國民ヲ窘窮セシメ、終ニ殲滅スルノ勢アリ、加大焔ノ人民之ヲ察シ、國力ヲ竭クシテ羅馬ト劇戦スト雖トモ、衆寡敵セス、大ニ敗歟シ、都城燒燼シテ、紀元前百四十八年全國悉ク亡ブ、是ニ於テ羅馬ノ國勢益強盛ニ赴キ、希臘國ヲ覬覦シ、國人ヲ誘惑シテ、馬基頓王ニ叛カシメ、國王ヘルセウスヲ擒ニシテ、自國ニ輸リ紀元前百四十六年、悉ク其舊土ヲ併セテ、羅馬ノ属地トナセリ、羅馬人既ニ近隣ノ諸國ヲ滅ホシ、其

領地亞細亞亞弗利加ニ跨リ、西ハ佛朗西西班牙ニ達シテ、比類ナキ大國トナレリ、羅馬ノ勢益強大ニシテ、富有ヲ極ムルニ至リ、國內ノ政令却テ錯亂シ、富豪貴族黨ヲ結ンテ、大難ヲ醸シ、平民毎ニ凌虐ヲ被ルヨリ内亂屢起リ、都府常ニ騷然タリ、紀元前八十八年ノ頃、マリユス及ヒシルヲト云ヘル貴族、互ニ黨與ヲ結ヒテ、勢權ヲ争ヒ、其黨相仇視シテ、内亂ノ基ヒヲ生シシルヲ遂ニマリユスヲ國外ニ放逐シ、嚴シクマリユスノ黨ヲ殺戮シ、テ、政權ヲ握リ、テ、グテートル

ノ職ニ任ス、此職ハ威權限リナク、法度ニ拘ハラ
ス政令ヲ出タシ、生殺ノ權ヲ有スルモノニテ、威
力殊ニ大頭領ノ上ニ在リ、蓋シ古來國ノ危急ニ
逼ルトキ、暫ク威權ヲ一人ニ歸シ、事ヲ處置シ、必
ス任限ヲ定メテ、六月ヲ過クヘカラストス、然ル
ニシルラハ終身ヲ期シテ、此職ニ任シ、大ニ羅馬
ノ政令ヲ改メ、庶民ヲ殘害シ、恣ニ己ニ反スルモ
ノヲ殺戮シ、却テ貴族ヲ愛撫シ、國民所有ノ土地
ヲ奪ヘリ、是ヨリ國內大ニ亂レ、尋テ處々ニ一揆
ノ輩蜂起シ、或ハ西班牙人トカヲ合セ、大軍ヲ率

并テ、國都ニ侵入スル事アリ、是ニ於テシルラ職
ニ在ルコト、二年ニ滿タスシテ自ラ退ケリ、是ヨ
リ先、潘沛ト云フモノ頭領ノ儲位トナリシガ、此
時ニ方リ、悉ク一揆ノ輩ヲ平定シテ、國內一度鎮
定スルヲ得タリ、是ヨリ潘沛國內兵馬ノ權ヲ握
リ以太利ヲ平定シ又亞細亞ノ諸國ヲ征服シ、盡
ク王國ノ權ヲ奪ヒテ、羅馬ニ隸屬セシム、此時又
潘沛ノ外、二人ノ豪士アリ愷撒古拉斯ト云ス、殊
ニ古拉斯ハ國內第一ノ富豪ナルヲ以テ、財ヲ民
間ニ散シテ、大ニ人民ノ驩心ヲ得タリ、此ニ於テ

三人深ク交ヲ結ヒ、國政ヲ掌握セリ、之ヲ羅馬三人ノ始祖ト云フ、後愷撒ハ西方都督トナリ、古拉斯ハ東方ノ都督トナリ、潘沛ハ都城ニ在テ國政ヲ掌レリ、蓋シ此以前歐羅巴洲西方ノ地ハ、野蠻ノ巢窟ニシテ未夕其境ニ入ルモノ非ス、愷撒西方ノ都督トナルニ及ヒテ、佛朗西和蘭比耳時ノ地方ヲ略シ、又英國ニ渡リテ、之ヲ討服シ悉ク領地ニ歸ス、古拉斯ハ亞細亞ヲ征討スルニ方リ、其軍敗レテ之ニ死ス、愷撒ノ軍威益強盛ニシテ兵士ノ心ヲ得ルニ至リ、終ニ潘沛ト不和ヲ生シ、互

ニ殲滅センコトヲ謀ル、是ニ於テ愷撒大軍ヲ率キテ、國ニ歸リ、羅馬ニ向ス、羅馬ノ宿將亦潘沛ヲ大將トナシ、之ヲ邀ヘ、紀元前八十六年大ニ劇戦シテ潘沛遂ニ敗レ、希臘ニ走リ、尋テ侯及ニ遁ル、侯及人潘沛ヲ捕テ之ヲ殺セリ、是ニ於テ愷撒國都ニ入り、盡ク潘沛ノ黨ヲ平ケ終身ノチガテリトルニ任シ、次テ四十八年前、インペラトルノ位ニ昇ル、蓋シインペラトルハ、國內兵馬ノ全權ヲ握ルノ號ニシテ、後世帝王ノ尊稱トナレリ、愷撒ハ詐譎權謀ヲ以テ、國政ヲ執リ、國民ヲ撫育シ、財

ヲ散シ、士民ニ與ヘテ大ニ衆庶ノ驩心ヲ得タリ、然レトモ稍々國體ヲ變シ、自ラ王位ニ昇ラントスルヨリ、國民ノ望ヲ失ヒ、内亂ヲ生シ、紀元四十四年前、土寇ヲ平ケテ功ナク、歸テ議事院ニ入り、議官ノ為ニ害セラル○次テ愷撒ノ義子屋大唯其甥、安敦及ビレピシユスナルモノ相結ンテ愷撒貯畜ノ財ヲ散シ衆心ヲ誘ヒ、終ニ愷撒ヲ殺セルモノヲ捕ヘテ、悉ク殺戮シ、頗ル殘忍ヲ窮ム、是ヨリ國內又動亂ヲ生シ、此際亦三人權ヲ爭ヒテ相和セス、レピシユスハ自ラ遁テ他國ニ行キ、安

敦ハ侯及ニ至リ、女王クレパトラト合ス、屋大唯兵ヲ進メテ侯及ニ入り、安敦ト戰テ之ヲ破リクレパトラノ軍ヲ降シ、終ニ三十一年前、安敦ヲ殺シテ凱旋ス、是ニ於テ屋大唯全國ノ威權ヲ掌握シ、終ニインペラトルノ位ニ昇リ、次テ國體ヲ變シテ帝國トナシ、奧古士都帝ト稱ス、蓋シ羅馬國合衆政治トナリシヨリ、殆ト五百年ニシテ復帝國トナレリ、此帝在位ノ間ハ羅馬最盛ノ時ニシテ、文運特ニ進シ、國勢益隆盛ニ趣キ、其領地西ハ英國ニ達シ、歐洲ノ大半ヲ包シ、波斯ヨリ亞弗

利加ニ跨リ、地中海ノ諸
 島ヲ併合セリ
 奥古士都帝三十年、洋教
 ノ始祖、耶蘇基督、猶太國
 ニ生ル、紀元十四年、帝崩
 シテ、的北流立チ、殘虐放
 縱ニシテ、下民ヲ虐ケ、政
 令大ニ亂ル、然レトモ武
 威強盛ニシテ、隣邦敢テ
 抗スルモノナシ、此帝ノ

奥古士都帝ノ圖



十九年、猶太人、耶蘇基督ヲ死刑ニ處セリ、爾後帝
 位、王室ヨリ相續シ、或ハ侯家ヨリ出テ、血脉一統
 ナルコトナシ、的北流歿シテ、加馬里古刺立チ、放
 肆ニシテ、弑ニ遇ヒ、其叔父輩老去立ツ、又昏愚淫
 逆ニシテ、國政治ラス、私ニ前王ノ寡婦ニ通シ、其
 抑制スル所トナリ、寡婦終ニ寵ヲ擅ニシ、權ヲ弄
 シ、帝ヲ弑シテ、其子尼羅ヲ立ツ、亦殘虐暴戾ニシ
 テ、酒色ニ耽ケリ、殺戮ヲ好ミ、政令大ニ亂レ、兇徒
 蜂起シ、亂賊横行ス、尼羅王モ亦下ノ為ニ弑セラ
 レ、加爾巴屋多及ヒ菲德流次テ篡立ス、皆久カラ

スシテ弒セラル、此ニ於テ菲士巴山侯賊徒ヲ誅
シテ自立シ勉勵政ヲ治メ、國勢漸ク回復ス次テ
七十九年帝度立チ、賢明ニシテ國民ヲ安撫シ内
外稍無事ニ屬セリ、然レトモ仁柔ニシテ果斷ナ
ク終ニ其弟ノ為ニ弒セラル、特密丁既ニ兄ヲ弒
シテ、王位ヲ嗣キ、專橫強戾亦下ノ為ニ弒セラル、
匿哈氏立チ幾モナク卒ス、次テ大刺壤氏立チ、兵
事ヲ好ミ、四隣ヲ征討シ、大ニ版圖ヲ拓キ、國勢再
ニ強猛ニ至ル、亞得良王ニ至リ、北邊ノ蠻夷ヲ征
服シテ、地ヲ北方ニ擴メリ、降テ百三十八年安敦

帝立チ、英武ニシテ、仁德ヲ被、國民太平ノ澤ニ浴
ス、然レトモ是ヨリ以降、國內漸ク奢侈ノ風ニ移
リ、國勢次第ニ衰へ、風俗放肆怠慢トナリ、兵馬ノ
權、愈強クシテ、肆ニ帝位ヲ黜陟シ、或ハ篡奪弒逆
ヲ行フコト多シ、此際ニ方リ、上下殘虐ヲ極ム、人
理ノ亂リ、黨與相疾視シテ、殺戮ノ絶ユル年無シ、
降テ二百三十年ノ頃、戴克里先帝ニ至リ、至大ノ
版圖ヲ統轄シ難キヲ以テ、邦土ヲ分チ愛將馬美
隣ニ與ヘテ、別ニ帝位ニ昇ラシム、○哈勒良帝立
ツニ及ヒ、親ラ波斯ヲ伐チ、敗レテ其擒トナリ、嗣

子加連ノ世ニ至リ、國內漸ク分裂シテ、自ラ帝ト稱スルモノ多シ、公膽的帝ニ至リ大ニ耶蘓教ヲ尊奉シ國民ヲシテ一般ニ此教ヲ奉セシム、嗣子公膽的帝ノ代ニ至リ、分裂シタル封土ヲ統一シ、漸ク國勢ヲ回復ス、三百三十年、都ヲ公坦丁ニ移シテ、東都トス、帝卒シ三子位ヲ争ヒ、國內大ニ亂ル、公坦廷二世ハ東都ニ王タリ、李弟公胆多ハ羅馬ニ據テ王ト稱ス、爾後ノ王代亦内亂屢起リテ、弑逆篡奪スルモノ多シ、次テ帝阿多西帝ニ至リ、國亂ヲ平定シ、再ヒ一統ニ歸シ、稍太平ヲ致セリ

然ルニ終リニ臨ミ遺言シテ、封土ヲ東西ニ二分シ、其二子ヲ封ス、紀元三百九十六年羅馬國東西兩部ニ分レ、西帝ハ伊太利、日耳曼、佛蘭西、和蘭、英吉利、西班牙及ヒ亞弗利加ノ北部ヲ領シ、東帝ハ希臘今ノ土耳其、小亞細亞及ヒ埃及ヲ領ス、此時西羅馬ノ王ヲ和那流ト云フ、饕貪シ厭クコトナク、淫刑ヲ喜ヒ、讒言ヲ信ス、嘗テ賢臣斯的利哥ナル者ヲ殺シ、國勢頓ニ衰ヘ且屢野民ノ侵掠ヲ被リ之ヲ防クコト能ハス、○是ヨリ先キ三百七十年ノ頃ヨリ亞細亞ノ西部、及ヒ歐羅巴内地ノ人

民互ニ遷徙シテ、世界ノ一大變革ヲ生シ、各國人種ノ區別大約此時ニ定マル、之ヲ歐洲居民ノ大遷徙ト云フ、蓋シ亞細亞内地ニ匈奴ト名クル野民アリ、常ニ遊牧ヲ業トナシ、帳幕ヲ携ヘ水草ヲ逐フテ、各地ニ轉移シ、或ハ行旅ヲ掠ム、又隣邦ヲ侵シ、掠奪ヲ縱ニスルモノナリ、曾テ支那ヲ侵シ、久シク禍害ヲナセリ、東晋ノ代ニ至リ、大ニ支那ノ為メニ破ラレ、其大衆黑海ノ北邊ヨリ歐羅巴ノ内地ニ侵入シ、土民ヲ驅逐ス、此頃亦黑海ノ近傍、及ヒ日耳曼ノ北邊ニ我特ト名クル野民アリ、

強暴ニシテ、掠奪ヲ業トス、此民匈奴ノ為ニ驅逐セラレ、又他ノ地方ニ侵入シテ、其民ヲ逐フ、是ニ由テ日耳曼ノ内地、大ニ動亂シ、其衆更ニ以太利佛蘭西西班牙等ニ侵入セリ、此時佛朗哥ハ佛蘭西ニ入テ、佛國ヲ建テ安各羅、撒遜ハ英吉利ニ入テ、英國ヲ建テリ、是ニ由テ西羅馬ノ地ハ、悉ク遷徙ノ野民ニ侵サレ、唯伊太利ノ中部ヲ領セリ、四百五十五年ノ頃、又ワングルスト名ツクル野民ノ侵掠ヲ被リ、國勢愈衰微シ、終ニ四百七十六年日耳曼ノ酋長阿特亞塞ナル者羅慕奧古督帝ヲ

廢シ自立シテ王ト稱ス是ニ至テ西羅馬全ク亡
 フ、九ノ羅慕路建國ヨリ、千二百余年ナリ、此時ニ
 方リ羅馬法王ノ威力既ニ盛ニシテ、兵馬ノ政權
 フ握リ、以太利ノ西部ニ據レリ
 東羅馬ノ初王ヲ亞加儒ト云フ、君士坦丁ニ都ス、
 愚弱無道ニシテ、國政治ラス、爾後次テ王タルモ
 ノ、皆暴戾ニシテ内亂益起リ、篡奪弒逆ヲ行フモ
 ノ多ク、國勢次第ニ衰へ域内益々騷擾ス、降ッテ
 五百二十六年、如帝尼安帝立チ、英明ニシテ能ク
 政ヲ治メ稍頽勢ヲ挽回スト雖トモ、此際ニ又回

羅馬法王ノ圖



教ノ徒、亞刺比亞ニ起リ、
 兵勢頗ル強悍ニシテ、四
 隣ヲ攻掠シ、終ニ東羅馬
 ノ領地ナル以太利ノ東
 部、及ヒ埃及等ヲ奪略シ、
 且屢内地ニ侵入シテ、益
 版圖ヲ縮小シ、國勢振ハ
 ス、降テ千三百三十余年
 土耳其ノ兵、歐羅巴ニ侵
 入スルニ及ヒ、愈領地ヲ

西羅馬全ク亡
 九ノ羅慕路建國ヨリ
 千二百余年ナリ
 此時ニ
 方リ羅馬法王ノ威力既ニ盛ニシテ
 兵馬ノ政權
 フ握リ
 以太利ノ西部ニ據レリ
 東羅馬ノ初王ヲ亞加儒ト云フ
 君士坦丁ニ都ス
 愚弱無道ニシテ
 國政治ラス
 爾後次テ王タルモ
 ノ皆暴戾ニシテ
 内亂益起リ
 篡奪弒逆ヲ行フモ
 ノ多ク
 國勢次第ニ衰へ
 域内益々騷擾ス
 降ッテ
 五百二十六年
 如帝尼安帝立チ
 英明ニシテ能ク
 政ヲ治メ
 稍頽勢ヲ挽回スト
 雖トモ
 此際ニ又回

蚕食セラレ、終ニ千四百五十年土耳其ノ兵君士
坦丁ヲ陷ルニ至リ、東羅馬全ク亡フ、即羅慕路建
國ヨリ二千二百余年ナリ

羅馬尼

西羅馬ノ亡滅スルニ方リ、其人民相率テ、多
河邊ニ移リ、茲ニ一村ヲ占ム、爾後東羅馬ノ衰
フル頃ヨリ、羅馬人次第ニ移リテ、稍々人口ヲ増
スト雖トモ、土耳其ノ隸屬トナリ、久シク其苛政
ニ苦メリ、紀元一千八百六十年ノ頃ヨリ、國人力
ヲ協セテ、獨立ヲ謀リ、始テ公國トナリ、羅馬尼ト

號ス、然レトモ猶土耳其ノ羈軛ヲ免レズ、僅ニ羅
馬ノ祀ヲ存スルノミ、建國ノ時、始テ公位ニ昇ル
モノヲ歴山約翰ト云フ、位ニ在ルコト六年、政令
整ハス、大ニ内亂ヲ生シ、遂ニ公位ヲ黜ケラレ、又
日耳曼ノ諸侯ヨリ公子ヲ迎ヘ立ツ、之ヲ迦爾一
世ト云フ、是今代ノ公ナリ

斯 居魯士 新亞西里亞

達馬斯谷 耶路撒冷 撒馬斯攝 薩馬里 三

勿拉 薩拉 巴比羅尼亞國

尼布甲尼撒 猶太 多路 伯沙撒

猶太國

亞伯刺罕 希伯來 迦南 雅各 約瑟 伊色

列 摩西 太僻 撒路門 羅破暗 撒馬里亞

西士 攝多斯 羅馬 耶蘇基督

勿搦齊亞國

西 嗽 西班牙 歷山 希臘

亞 刺比亞國

日耳曼 摩哈麥 麥加 伊太利 鐵木真

波斯國

罕斯 呂底亞 乾比西 太流士 澤耳士 西

利亞 蒙古 韃靼 沙馬何美 都魯機 亞加

業坦 皮路直坦 魯西亞

亞細亞 土耳其

希臘

希臘

希臘

希臘

希臘

希臘

希臘

希臘

希臘

希臘

希臘

萬國地理卷一 字引 二

雅典	甲抹	士怕太	特羅亞	怕哩	馬基頓
不里布	英	佛	佛	魯	拿
巴里	巴威里	阿多	噠國	惹爾	
羅馬					
伊尼亞	私	羅甸	亞兒巴	奴迷士	亞慕路
羅慕路	列慕路	撒便	努馬	多路	安癸
路斯	塞爾不	達爾堅	措古多	不羅多	撒
暴尼丁	西細里	加大	墨西那	漢尼巴	
亞伯	西里亞	佛朗西	潘沛	愷撒	古拉斯
和蘭	比耳時	屋大唯	安墩	奧古士都	

的北流	加馬里	古刺	革老丟	尼羅	加爾巴
屋多	菲德流	菲士巴	山	帝度	特密丁
匿哈	大刺壤	亞得良	戴克里先	馬美隣	
哈勒良	加連	公膳的	公坦丁	公膳廷	公
騰多	帝阿多西	英吉利	和那流	斯的利哥	
我特	佛蘭哥	安各羅	撒遜	阿特亞塞	羅
慕奧古督	亞加儒	君士坦丁	如帝尼安		
羅馬	馬尼國				
多惱	歷山約幹	迦爾			

萬國史略卷一

字引 三

48-13774

